

明治日本の産業革命を支えた世界文化遺産

軍艦島 を はかる

2017. 9. 30 土
14:00~16:00

第2回テーマ：小中学校(70号棟)、耐波建築(31号棟)
最大の建物(65号棟)をはかる

軍艦島建築群の中から、子どもたちの小中学校として使われた70号棟、島内を台風や時化による大波から守るために造られた31号棟、島内最大規模の鉱員アパート65号棟に焦点をあてる。

【講演内容】

- ①70号棟、31号棟、65号棟のいまを測る
- ②70号棟、31号棟、65号棟の思い出と想い
- ③質疑応答

【講師】

濱本卓司（東京都市大学名誉教授）

1974年の閉山以来無人島となった長崎県端島(軍艦島)。その崩れゆく姿を視覚・聴覚・触覚を用いて、長期モニタリングを行っている。島内での生活経験のある中村陽一氏による当時の島の様子を交え、軍艦島の過去・現在・未来の姿を重ね合わせながら、親しみやすく、わかりやすく解説する。

中村陽一（元NPO法人軍艦島を世界遺産にする会理事／
本学工学部建築学科S38卒）

1938年札幌市生まれ。終戦後の1947年、一家で樺太より引き揚げ軍艦島へ。父親が軍艦島の三菱鉱業(株)の鉱長であったため、中学一年までこの島で過ごす。世界文化遺産に指定された、第2の故郷である貴重な建物を含めた軍艦島の功績を、後世に語り継いでいる。

31号棟

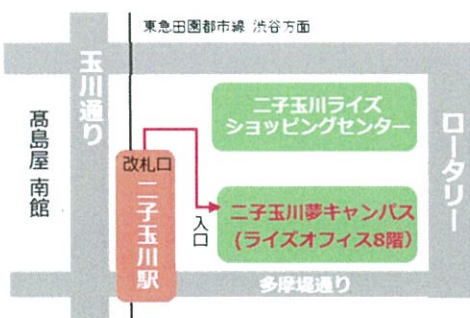
65号棟

70号棟

会場：東京都市大学 二子玉川夢キャンパス
(13:30開場)
対象：一般／本学教職員／本学学生／本学卒業生
定員：100名

【お問い合わせ・受講お申し込み】
校友会事務局へ9月28日（木）まで
にお申し込みください。参加無料。
e-mail: koyukai@tcu.ac.jp
Fax: 03-3703-4595
Tel: 03-3703-3862

二子玉川 夢キャンパス



東京都世田谷区玉川2-21-1
二子玉川ライズ・オフィス8F
TEL 03-5797-9504

駅改札口を出て、すぐ右の建物です。
6階からは低層階用エレベーターで、
8階までお越しください。

【次回予定】

第3回 2018.3.24(土)
「日給社宅（16～20号棟連結建物）をはかる」
／軍艦島をはかり続ける意味